

医療情報学

A 欧 文

A-a

1. Akahoshi H, Taura N, Ichikawa T, Miyazaki H, Akiyama M, Miuma S, Ozawa E, Takeshita S, Muraoka T, Matsuzaki T, Ohtani M, Isomoto H, Matsumoto T, Takeshima F, Nakao K :Differences in prognostic factors according to viral status in patients with hepatocellular carcinoma. Oncol Rep. 2010 May; 23(5): 1317-23.(IF:1.588) *

B 邦 文

B-b

1. 松本武浩, 本多正幸 : 長崎県での地域医療IT連携普及への取組み「あじさいネット」. 医療情報学30 (Suppl.) : 31-34, 2010
2. 松本武浩, 木村博典, 岡田みずほ, 本多正幸 : 異なるHISベンダー間での地域医療IT連携の実現. 医療情報学30 (Suppl.) : 1004-1006, 2010
3. 丸山陽一, 松本武浩, 海老原隆善, 藤原 卓, 本多正幸 : クライアント・サーバ型電子カルテとサーバベースコンピューティング型歯科システムの連携についての評価. 医療情報学30 (Suppl.) : 1116-1119, 2010
4. 米田利己, 本多正幸, 中嶋春生, 正田直人, 野寄正樹, 林田和子, 一橋了介 : CATV ネットワークを活用した地域見守り支援システムー長崎・対馬地域における実証事業の展開を踏まえてー. 医療情報学30 (Suppl.) : 1175-1176, 2010
5. 松本武浩, 岡田みずほ, 本多正幸 : 処方オーダーエントリーシステムに組み込んだ持参薬管理システムの開発. 医療情報学30 (Suppl.) : 1282-1285, 2010
6. 本多正幸, 松本武浩, 紀ノ定保臣 : 患者データの2次利用システムDWHの役割と課題ー課題研究会における経過を踏まえてー. 医療情報学30 (Suppl.) : 1320-1321, 2010
7. 本多正幸 : 地域医療連携と地域見守りににおけるICTの活用ー長崎地域における取組と成果ー. 日本健康医学会, 第19巻第3号, 2010年11月: 104-141, 2010
8. 木村博典, 中原賢一, 米倉正大, 松本武浩 : あじさいネットにおける双方向性連携による情報共有の試み. 医療情報学30 (Suppl.) : 999-1001, 2010
9. 松本武浩 : Change!長崎大学病院 地域医療との連携 気軽に利用できる情報源を目指して. 長崎県医師会報, 第769号, 平成22年2月: 30-31, 2010

B-c

1. 八橋 弘, 松本武浩 : 長崎県での医療連携ーIFN手帳とあじさいネット. 肝胆膵61 (5) : pp.819-827, 2010
2. 川口サツミ, 黒石さゆり, 竹田まりえ, 多谷彩子, 向田圭介, 境脇由香利, 近藤政美, 坂井光太郎, 松本武浩, 川崎浩二 : 入院説明と退院支援スクリーニングをメディカルサポートセンターに一元化 ー看護師は本来業務に専念できるようにー. 医療アドミニストレーター: pp.32-27, 2010
3. 藤井 卓, 松本武浩, 白髭 豊, 野田剛稔 : 『がん疾患地域IT ネットワークと電子地域連携クリティカルパス』. じほう: pp.199-217, 2010
4. 松本武浩, 吉田亮子, 本多正幸 : 病院情報システムにおける物流システムの価値ー長崎大学病院における物流システム構築ー. 新医療: 2010
5. 松本武浩 : 医薬品と対応病名データベースの価値. ジャピック・ジャーナル: 15, pp.25-35, 2010
6. 松本武浩 : 地域連携クリティカルパスとITー現状と今後の方向性ー. クリティカルパスの新たな展開VI地域医療と地域連携クリティカルパス, 中外製薬株式会社: pp.49-55, 2010

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2010	1	0	0	0	1	1	0	9	6	0	15	16

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2010	0	0	0	0	1	6	17	24	24

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	$\frac{\text{欧文論文総数}}{\text{論文総数}}$	教員生産係数 (欧文論文)	$\frac{\text{SCI 掲載論文数}}{\text{欧文論文総数}}$	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2010	0.063	0.333	1	0.333

Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2010	1.588	0.529	1.588